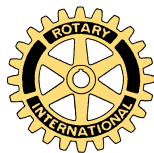


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日  
12:30～13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 小川 耕 示  
幹事 丹 羽 克 誌  
会報委員長 石 川 友 美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3173回例会プログラム

[当年度=12回目；当月=4週目]

2022年（令和4年）10月24日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 会長挨拶並びに会長報告

7. 映画「マリッジカウンセラー」…

監督 前田 直樹 様

8. 幹事報告

9. 出席報告

※第1四半期皆出席の発表（出席委員会）

10. 委員会報告

11. ニコニコボックス報告

12. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(10/27) ……

観劇家族例会（親睦活動委員会）

11:00～例会・昼食

(ラソールガーデン名古屋)

13:30～観劇（劇団四季「キャッツ」）

※10月31日(月)の例会変更分です。

(11/7) ……

卓話 「LPレコードの魅力を引き出す

真空管アンプ」

講師 株式会社サンバレー

取締役 大橋 慎 様

(紹介者 渡部 亨 会員)

## 2. クラブフォーラム……………〈米山記念奨学委員会〉

13:00 卓話 「第2760地区米山奨学事業について」

講師 地区米山記念奨学委員会

委員 池田 直樹 様

(紹介者 伊藤 節夫 会員)

13. 謝 辞

14. 点 鐘……………〈会 長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散 会

## ゲ ス ト

映画「マリッジカウンセラー」監督 <sup>まえだ</sup> <sup>なおき</sup> 前田 直樹 様

映画監督 前田 直樹 様

## 出 席

会員総数 101名 出席免除 25名

出席義務者+免除者の内例会出席者 91名

欠 席 4名 出席率 95.60%

前々回 (10/3) の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 10月8日 刈谷ハイウェイオアシス内の岩が池公園において、社会奉仕事業として、パラソル付きテーブルベンチ6台を寄贈しました。寄贈式には稲垣刈谷市長、清水公園緑地課課長を来賓に迎え、久米社会奉仕委員長はじめ、10名の会員で参加してまいりました。



- 2) 10月11日 刈谷商工会議所創立70周年記念式典に出席してまいりました。
- 3) 10月13日 西尾一色ロータリークラブ60周年記念式典に幹事と共に参加してまいりました。
- 4) 10月23日 刈谷ハイウェイオアシスにて、刈谷音楽協会の日に参加してまいりました。
- 5) ロータリー米山記念奨学会より「6千万円達成クラブ」感謝状が届きました。

## 幹事報告

- 1) 10月1日より、ロータリーレートは、145円となりました。
- 2) 本日例会終了後に特別会議室にて第5回理事会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

## 委員会報告

### ●親睦活動委員会

親睦活動委員会より2点ご案内させていただきます。

- 1) 明日10月25日火曜日に多治見カントリークラブで開催されますゴルフ例会についてご案内致します。現在、中央自動車道の多治見IC～土岐IC間は工事による規制中のため、中央道は渋滞が予想されます。
- 2) 観劇家族例会についてご案内致します。今週10月27日木曜日11時より、ラソールガーデン名古屋にて例会を開会します。

### ●社会奉仕委員会

- 1) 10月1日より全国一斉に令和4年度「赤い羽根共同募金運動」が展開されます。皆様のご協力をお願い致します。

## 会長あいさつ

小川 耕示



刈谷市内の中学4校が今年度、創立75周年を迎えられました。先週から刈谷南中学校、刈谷東中学校、富士松中学校、衣佐美中学校と記念式典が順次開催され各校それぞれ特色ある記念行事が行われる予定です。私は、東中出身ですが記念誌編纂のお手伝いをする事になり、中学校の歴史について学ぶ機会を頂くことができました。

戦前の尋常小学校6年、高等小学校2年から戦争中は、国民学校初等科6年、高等科2年と名称が変わり、昭和22年に六・三制が実施されたために今の中学校が設立されました。当時、刈谷は刈谷町でしたので、刈谷町立第1中学校が亀城小学校に、刈谷町立第2中学校が小高原小学校に開設され、同時に富士松村立中学校、衣佐美村立中学校も開設されました。しばらくして、第1中学は衣浦地区に、第2中学は豊田工機の青年学級校舎を間借りしながら小高原地区に新校舎の建設地選考をしていたそうです。昭和25年に刈谷市制が施行され、それぞれの学校は刈谷市立中学校となりました。その時に、第1中学は刈谷の南に作る予定だったので南中学校、第2中学は東部に作る予定で東中学校に名前が改められ現在に至っています。その後、雁が音中学校、朝日中学校が加わり刈谷市立中学校は6校となりました。

さらに2025年度には、中高一貫校の刈谷高校附属中学がオープンします。中学校新校舎と小体育館が新たに建設され、2学級80人の学校でスタートし3年後には240人規模の学校になる予定です。今の刈谷市立中学の生徒数が4千人ぐらいなので6%程度市内中学の定員増になりそうです。現在の刈谷高校の生徒数は1,200人でそのうち刈谷市内の生徒は250人ぐらいなので刈谷市に住んでいる刈校生の割合が減ってしまうかもしれませんが、人工芝化プロジェクトが立ち上がり、新しい学校に変わろうとしていますので地域で応援したいと思います。来年度から市内の中学校も刈谷高校も従来の制服、学ラン、セラー服にブレザーが加わります。きっと街の様子が大きく変わるのではないのでしょうか。



## 卓話 「第2760地区米山奨学事業について」

講師 地区米山記念奨学委員会

委員 池田 直樹 様



刈谷ロータリークラブの皆様には日頃よりロータリー米山記念奨学事業にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

米山奨学記念事業は諸先輩方もご存知のように、日本全国34地区のロータリークラブの合同活動による

日本独自の事業です。その主な概要は、世話クラブ、カウンセラー制度により日本で学ぶ外国人留学生との交流を重視して支援活動を行うことです。

2007年11月にロータリー米山記念奨学会も RI の定める多地区合同活動として、すべての手続きを完了しております。

米山記念奨学金は外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。2022学年度は、日本全国で898人（前年度910人）、うち2760地区では53人（前年度54人）が採用され、各ロータリークラブでお世話を頂いています。累計では世界129の国と地域から22,825人を支援しています。今年度の奨学生の出身国は中国（41.8%）、ベトナム（15.6%）、韓国（10.0%）の順となっています。累計では中国（34.9%）、韓国（20.6%）、台湾（15.6%）の順になっています。奨学生の選考は全地区統一された共通選考基準と各地区の裁量を加えての選考を行っています。

米山記念奨学事業はロータリアンの皆さんのご寄付から成り立っています。2001年以降では2001年の17億円をピークに近年では13～14億円となっています。寄付金にはクラブから会員数分を納める「普通寄付金」と、それ以外に個人・法人・クラブから、任意で支援して頂く「特別寄付金」の2種類があります。2760地区の個人平均寄付額は15,126円（全国平均15,971円）で34地区中16位です。【刈谷 RC：16,853円】特別寄付者割合は全国平均46.4%に対して2760地区は33.2%となっております。【刈谷 RC：68.7%】ちなみにトップは2840地区の85.9%です。

米山記念奨学生から米山学友に。そして学友からロータリアンになる人も存在します。

また、東日本大震災の時は国内外の学友から760万円、熱海土砂災害の時は150万円の義援金が送られました。

最後に、刈谷ロータリークラブの皆様には本年度も前年度以上にご支援賜ります様、よろしくお願い申し上げます。